

hot topics

大学生と考える観光まちづくり

小郡市と包括連携協定を結んでいる福岡女学院大学の「観光まちづくり」の授業では、観光をきっかけとしたまちづくりを学び、取り組んでいます。

8月3日、七夕神社の夏祭りの準備の一環で、学生2人が地域の人と一緒に、境内の笹に短冊を飾り付けました。

作業の後は、市内の史跡や如意輪寺などを巡り、小郡市の観光まちづくりについて考えました。参加した学生は「良い経験になった」「また来たい」と話し、「地元住民と観光客がつながる『架け橋観光』を実現できればいいのでは」と学生ならではの提案をしてくれました。



hot topics

戦没者遺族連合会が語り部活動

終戦から80年の今年、大保公民館では「戦争・平和語り部活動」が行われました。

7月14日に行われた大保区健康ふれあいサロンに、小郡市戦没者遺族連合会の山村会長、三国校区遺族会の佐々木会長、黒岩副会長が語り部として訪問。それぞれが体験した、空襲の恐ろしさや食糧不足の苦労など、戦争の悲惨さを語りました。

語り部の3人の話をきっかけに参加者も自身の戦争体験を話すなど、経験を共有することができました。遺族会では、戦争の記憶を次世代へ継承するため、今後も語り部活動を続けていくということです。



hot topics

晴れ風ACTIONで夢HANABI応援

花火大会「夢HANABI」が麒麟ビール株式会社の地域文化保全・支援活動「晴れ風ACTION」に選ばれ、50万円と人気商品「晴れ風」の売り上げの一部などを寄附していただくことになりました。

8月4日、市役所を訪れた同社の塩見九州支社長に、加地市長や主催のみい青年会議所が感謝を伝えました。三原実行委員長は「物価や人件費の高騰、猛暑などで花火大会の開催が年々難しくなっているが、地域が誇りを持てる花火大会を今後も育てていきたい」と話しました。

他にも地元企業や団体、地域の人々に支えられ、当日は無事に開催できました。



hot topics

地域ではぐくむ子どもたち

三国校区「人権のまちづくり」のポスター展示が、7月23日～8月1日に行われました。

絵は、20年以上登下校の見守りを続けている、中願寺公子さん(横隈)に感謝を伝えようと、地域の子どもたちがプレゼントしたものです。中願寺さんが見守りをしている様子や通学路の風景などが描かれた39点が展示されました。

展示のタイトル「地域ではぐくむ子どもたち」は、普段から中願寺さんが大切にしていること。温かく見守る中願寺さんのまなざしと、子どもたちの感謝の心が響き合う、心温まる展示となりました。





hot topics

江戸時代の旅籠で歴史検定

今回で10回目を迎える「小郡ふるさと歴史検定」の前期検定が8月30日に行われました。会場のひとつである市指定文化財旧松崎旅籠油屋では4人が受検し、『ふるさと小郡のあゆみ』を片手に、小郡市の歴史や文化に関する50問に挑んでいました。参加者は「時間が足りなかった」「まだまだ知らないことがある」と悔しそうな顔をしたり、「問題に出てきた場所へ行ってみたい」と楽しげに声を弾ませたりしていました。

後期は11月29日に開催します。詳しくは広報おごり11月号でお知らせします。



hot topics

夏休みの思い出に工作教室

小郡大刀洗シルバー人材センターの主催で、8月19日に夏休み子ども工作教室が開かれました。

紙コップを使った万華鏡や、ストローを使った飛行機・とんぼの作り方を、シルバー人材センターの会員に教わるこの教室。市内外から60人以上の親子が参加し、思い思いに作品を作っていました。

会場のイオン小郡店あまのがわ広場の一角に設けられた、作品で実際に遊べるコーナーは子どもたちに大人気。ストロー飛行機を作った3人のきょうだいは、飛ばし方を工夫しながら飛行距離を競っていました。



hot topics

文学散歩を写真で追体験

野田宇太郎文学資料館では、企画展「写真で見る文学散歩 九州・沖縄編」が開催されています。この展示を専門員の解説で深掘りするギャラリートークが、9月6日に行われました。

文学散歩とは文学作品のゆかりの地を訪ね歩くもので、企画展では、野田自身が各地で撮影した8万枚もの写真の一部、文学散歩に登場する作品など100点近くが展示されています。解説では、作品の背景や社会情勢、野田の交友関係の広さも紹介され、参加者は熱心に聞き入っていました。

企画展は12月1日まで開催され、11月1日にもギャラリートークが予定されています。



hot topics

各地で夏祭り開催

7月から8月にかけて、市内のさまざまな自治会で夏祭りが開催されました。

8月23日に行われた下町区の夏祭り・カラオケ大会では、子どもたちが活躍。中高生や特別支援学校生など約15人が、くじ引きやゲーム、モルックなど、地域の人たちに楽しんでもらえる企画を考え運営しました。もうひとつの目玉は、スポーツ振興委員会を中心に、区内の病院の協力を得て提供する焼きそばや焼き鳥。ボリューム満点の焼きそばが大人気でした。日本語学校の学生やスタッフも歌や踊りを披露するなど、地域全体で作上げた夏祭りとなりました。

